

共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第1897号 2018年12月2日

日本共産党 根室市議団

根室市宝林町4-203 TEL23-6023

根室市総合教育会議

市内の小中学校の適正配置の 新たな計画(素案)が示される

11月21日、市長と教育委員会による「総合教育会議」が開催されました。今回の市の総合教育会議の大きな議題は、小中学校の適正配置計画の「見直し」でした。

平成28年に市教委は市街地の小学校を3校に、中学校を1校にする案を示していましたが、しかし、その計画に對するPTA、地域、また市議会の意見は、通学距離などの問題から「反対」という声が多くあげられており、また9月に新しく就任した石垣市長は、教職員の市の独自加配もふくめて、中学校2校体制にすることを、教育委員会と協議していただくことを施政方針に掲げていました。

今回示された適正配置計画の改正「素案」では、小学校は4校↓3校にという案はそのままに(花咲港小学校と成央小学校の統合、花咲小学校を啓雲中学校の後校舎に移転)、中学校は3校↓2校(啓雲中と光洋中の統合、柏陵中は校舎が老朽化のため、根室西高校の後を「利用」という方針になっています。)

教育委員会はこの方針で地域住民・学校関係者との協議していくとしていきます。

※ 総合教育会議とは ※

市長と教育委員会が、相互の連携を図りつつ、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して教育行政を推進していくため、総合教育会議を開催しております。

総合教育会議では教育行政の大綱の策定、重点的に講ずべき施策や、児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置についての協議・調整を行います。

(根室市ホームページから引用)

総合教育会議の中でも、教育委員から意見や質問がだされてきましたが、特に近年の教職員の不足状況から、市が独自に加配しようとしても、人員をしっかりと確保できるのかどうか課題です。

また、小学校では統廃合を予定している地域の意見を十分に踏まえた対応としていくことが出来るのかどうか、

中学校でも統合によって通学距離が遠くなる学区の地域の子どもの通学の安全性の確保など、

市教委としても、学校・地域など丁寧な対応を目指していくとしています。

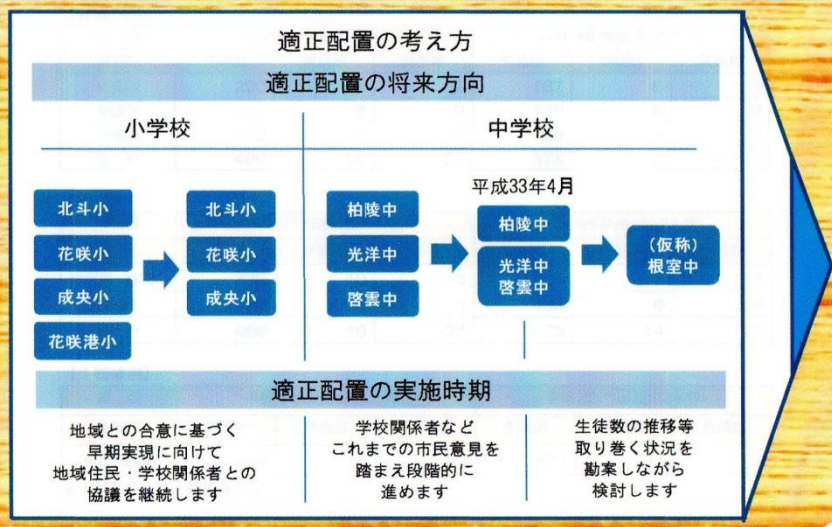
いずれにしても児童・生徒が安心して学ぶための環境整備のため、まだまだ課題はあると思いますので、私たちも今後もしっかりと議論・検討をすすめていきたいと考えます。

また教育行政におけるその他の課題として、

教職員住宅の環境整備のための施策を検討していること、(古い教員住宅を壊し、民間が建築する教員専用アパート)の建設用に土地を無償貸与することを(計画中)

青少年を対象とした事業では、市教委は「若ものの学園」として各種講座の開催や「青年サークル連絡協議会」の活動支援を行っているようですが、若者の参加者や活動サークルが減少している課題があること、

また「歴史と自然の資料館」については昨年、北構氏から13万点にもおよぶ貴重な北方資料の寄贈をうけたところですが、今後はその展示や公開のために、新たな展示・収蔵スペースの確保など課題があること、



今年のアフラ代が高い！ つらい！ そろそろ... 根室市の福祉灯油(めくもり灯油)が必要では？

今年と比較的暖かい秋でしたが、ついに初雪が降り、いよいよ冬本番です。でも、今年の灯油やガソリンは高い！

中東や世界情勢など様々な原因があることはニュースでやっています。が、それにしても「わざわざ冬に値上げしなくて良いだろう！」と怒りの声をあげたくなります。

こうした中、近隣の自治体では低所得世帯等に對して自治体が灯油代を補助する福祉灯油の支給がはじまっています。

根室市では今後の灯油販売価格の推移をみて、ということみたいですが、市民はまさに「いま」困っています。

ぜひ根室市の積極的な取り組みを期待したいと思います。

「総合体育館の建設」については、現在約3億円の積立基金を造成し、また市民委員会で基本方針の策定の議論を進めており、今年度末までに「基本方針」を策定すること、などが議論されていきました。

総合教育会議は「原則公開」ですが、多くの市民の方はその存在すら知らないのではないかと思います。

広く市民の興味や関心を得られるよう、今後の会議の開催方法などについて、さらなる工夫が必要かもしれません。